

会 議 記 録

会議名称	町民懇談会（川西地区）
開催日時	令和6年12月2日（月）19：00～20：10
開催場所	川西コミュニティセンター
出席者	参加者：33名 町：町長、副町長、遠藤庁舎整備課長、佐藤政策財務課長、佐藤庁舎整備班長、松本主査

<会議内容>

- ・町長あいさつ

説明・懇談

- ・説明・・・新庁舎建設候補地の比較検討について

- ・懇談（座長：副町長）

（町民）

庁舎建設で一番大事なのは、駐車場を含めた町民の方の利便性、防災拠点である。そういった面で色々と検討してほしい。スケジュール的には来年の3月までとタイトだと思うが、より一層丁寧な説明をし、大多数の町民の方が納得するような方針で決定すればいいかなと思う。

（町民）

今ほど説明を受けた4つの案から選択ということになると思うが、今後の進め方として、町民全員による投票というわけにはいかないとして、どのような基準で選定するのか。現在、各地区をまわっていると思うが、地区ごとにどこが良いかを聞き、地区の合意ができたうえで、一番多い場所とするのか。我々にはどのような決まりで決定するのか、目に見えない。工程はどのようなものか。例えば議会で決まるのか、それとも第三者委員会のようなもので決まるのか。

各地区説明した中で、町内の人と各地区ではそれぞれ要望があると思う。それをどのような形で決めていくのかが一番大切である。個人的には、防災機能、何かあった時にみんなが集まれる広いスペースが絶対必要と考えているので、②になればいいと思っている。

（事務局）

今回、7地区で4つの候補地について公平に提示し、色々な意見をいただいている。その中にはこの候補地がいいという方もいれば、こういう機能を入れて欲しい、防災拠点が一番重要だな

ど様々である。意見を集約し、どの候補地がいいかという案を、町の責任で決定する。その上で、検討委員会や議会へ説明し、意見をいただきながら、来年1月以降に一つの案に決めた形で再度皆様にお示しし、意見をいただくこととなる。その結果を踏まえながら、建設場所を決定していきたい。

(町民)

この懇談会が終わった後、庁舎建設事業に関わっている職員によって、各地区の意見をもとにまず建設地を決める。その後に議会等に諮るということか。

(事務局)

その通りである。

(町民)

この資料を見ると、町が真摯に庁舎建設について検討されたことがよくわかる。町民一人ひとりの意見に合わせることはできないので、最終的には町で、責任のある立場の方々と決め、町長の許可をもらって欲しい。

(町民)

国で問題となっている100云万円の壁について、それが170万円程に上がれば地方税の税収は減ると思う。役場ではどれ位減ると予想しているのか。

人口も今後17、18年で3千人減少する。当然、地方交付税も減っていくと思う。その点も踏まえて、今後の予算関係に大きく響かないのかを教えて欲しい。また、実質公債費率は現在、どの位なのか。

(事務局)

103万円の壁云々については、まだ決定ではない。当然、地方税収には影響があると思っている。地方交付税については、基準財政需要額と収入額の差額で交付されるものなので、差が大きくなりその分が交付されるだろうという考え方と、国が地方の財源に影響を及ぼす法改正をした場合には、地方特例交付金としてほぼ補填するような形を今まではとっている。現在、都道府県知事が地方の財政に影響を及ぼさないように盛んに言っているので、まだ分からないが地方税の減収分については、補填されるのではないかと考えている。

全体的な財政の計画として、公債費が大きかったが、現在は実質公債費率が9.8パーセントまで改善されてきている。今後、人口は減少し、交付税も減ってくることが予想されるので、そういったことも踏まえた中での財政運営をすると思うが、交付税に関しては、あまり下げないということを総務省でも示しているので、当面は劇的には下がらないのではないかと考えている。

40億円という試算について、現在基金が10億円程にはなったが、全てが起債を発行できるわけではない。発行したとしても全て借金であるので、返さなければならない。起債にあたらな部分もどうしても出てくる。一般財源で持つ部分も出てくる。毎年当初予算編成前に、財政シ

ミュレーションを行っており、昨年は40億円でも可能ではないかとなった。今年も行い、それにより財政の運営方法等を考えていかなければならないと思っている。

(町民)

今回この質問をしたのは、建設場所決定後に財政面の理由により延期となった経緯があるからだ。時代の流れや人口減少を考えると、それらが予算に影響してくるのではないか。当然、大丈夫なように設計していると思うが、長期的な展望が聞きたかった。若い人がここに住む時は、その辺りが重要になってくると思う。財政面は今後100パーセント大丈夫ということはないと思うが、町民の人に安心しながら進められるように、この場でもPRして欲しく、話を出させてもらった。

(町長)

103万円の壁について、参考までに申し上げる。先日、町村長の全国大会があり、出席してきた。どこの市町村も103万円の壁については、反対するということだった。政府もそれを取り切っていくということは困難であろうと、みんな見ていた。先ほどの説明の通り、減らすということはないと我々も考えているところである。

(町民)

4つの案について説明があり、③、④は時間がかかり無理だろうと皆さん考えていると思う。①、②になると考えている。決定までの流れとして、議会へ出し、議決されるか否決されるかは分からないが、どのような過程で決定するのか聞きたい。

(事務局)

今回の地域懇談会は、建設候補地を含めて色々な意見を聞くということで開催した。いただいた意見を町の方で判断しながら、建設候補地を絞っていきたいと考えている。来年1月以降には、再度皆さんより、一つに絞った案について意見をいただくために懇談会を開催する。目指す部分は令和7年3月頃決定し、議会へ町長から提案し、決定していききたい。候補地が決まった後は、詳細として令和7年度に基本計画をまとめていききたいと考えている。本日は、建設候補地についてここが良い、悪い、機能、広さ等意見を頂戴したい。

(町民)

場所選定の基準ということで話す。今、役場庁舎前で下水道の工事をしていると思うが、災害時に下水が出てきたりしないのか。無電柱化の話もあるが、何年かかるか分からない。電柱が倒れれば、防災拠点としては成り立たなくなってしまう。今の庁舎の場所ではまずいのではないかなと思う。

(事務局)

下水道の工事については、坂下町の大通りは上水道の老朽管が残っている場所であったことか

ら、解消するために行っているもの。今までよりは強い下水管が入るため、災害に強い上下水道ということになると思う。

(町民)

それは確定ではないだろう。どのような災害がくるかは分からない。東日本大震災並みの震度7の地震でも壊れないのかはハッキリ分かっていないだろう。

(事務局)

地震の規模によってはきちんと入れなおしても、被害がでる可能性もあるが、今までよりは強いという風に考えている。

(町民)

候補地②は下水道が通っているのか。

(事務局)

通っている。

(町民)

候補地②は、交差点であるので南側からも東側からも、北側からも入ることができる。そのような所を考えながら設定してほしい。

(事務局)

利便性など立地に関しては、道路の幅員も違うため候補地ごとにメリット、デメリットがあると思う。その辺りも勘案した中で意見をいただきたい。

(町民)

候補地③は大変な時間を要すると思う。候補地④は改修しても20年しか持たないとなれば、庁舎を作って良い時期にまた作らねばならず、経費がかかる。候補地①については、災害時には混雑してしまうし、無電柱化もすぐにできるような状況ではない。候補地②については、更地であり、工事もしやすいため期間もそんなにかからないし、防災面も良くなると思う。そうするとあそこには病院もあるし、行政を司る役場もある、様々な商店もあるとなり、災害対応に強いまちづくりができると思う。

(町民)

庁舎周りで一番許せないのは、庁舎移転反対のビラやのぼりがあること。町を良くしようと思ったら、あのようにしておくことが間違っていると思う。あの辺りに住んでいる方の考え方が分からないのだが。活気あるまちづくりをするのであれば、あのようなことをするのではなく、もっとお客様を呼ぶように進んでいくのが良いと思う。あれでは人は入らないと思う。

(町民)

一番大切だと思うのは、1 ページ目にある基本理念。候補地はこの5つの理念を組み込んだものとして良いか。

(副町長)

基本理念に沿って庁舎を建設する。

(町民)

この5つは全てクリアしているということで良いか。そうであるならば私は何も言わない。ただし、建物ができて、話が違ったとなればまた別な話にはなるが。

(事務局)

基本理念は目指すべき機能であり、これらをどの位充足できるかは候補地によって異なる。候補地ごとに面積や配置等様々な状況があるため、それについて皆様より意見をいただき、決定していきたいと考えている。

(町民)

基本理念の中で防災拠点機能というものが一番だと思う。基本理念には番号が振ってあるが、この順番の通りやっていけば、何とか答えはでるのではないか。

能登災害の時も、道路事情はあると思うが、消防関係の車や機動車が行けなかったということがある。町でそうなるかは分からないが、一番に考えるのは防災拠点ということではないか。

(町民)

この話が出たのは、昨年から1年半前かと思う。昨年の懇談会も参加した。場所の変更についても自分なりに理解しているつもりである。色々と検討しての4つの案だとは思うが、小学校の統廃合は考えていないからと排除してある、坂下小学校跡地の案も昨年、話に出ていた。小学校跡地案を外した理由は聞きたい。それは今現在、統廃合を考えていないからという理由だろうが、これから6年先の子どもの人口は把握しているはず。そこから考えると2つも小学校はいらないだろう。様々な要望を考えると、あそこも選定に入れて良かったのではないか。

建設するための予算組みを考えると、今現在建設費が2、3割上がっている中で、遅れれば遅れるほど建設費はかさむこととなる。予算組みをしていても、足りなくなってしまう。早く建設してほしい。

個人的には候補地④については、喜多方で行っている線路の拡幅も何十億かかると言われているものである。まず無理だと思っている。残り3つの案に絞られているとなる。候補地①については、最初の答申も疑問だった。その時は旧坂下厚生病院案がなかったのかもしれないが、新たな案もでて、いい候補地が出た以上はそこに決めて、早めに建設してほしい。私は候補地②が最適だと思う。

どの案も約40億円かかるとなっている。これを1年、2年先延ばしにすればするほど、事業費は膨らむ一方である。

(事務局)

学校の統廃合について、子どもたちの出生数もだいぶ減っているなので、近い将来小学校の統廃合の話も出てくると思うが、教育委員会にも確認したところ、庁舎の建設事業期間では統廃合の話は進まないようであるので、今回は外させてもらった。

建設工事費は、物価高騰、労務費も高騰しているので、なるべく早く着工したいと考えている。

(町民)

私も候補地②が最適だと思う。候補地①は防災拠点としてなり得ない。家屋が古く、災害時には火災も起きて、緊急車も入ってこられない。先ほども話にあった、水道管、下水道管は耐震化もしているので大丈夫だとは思いますが、候補地①はなし。候補地④については、踏切の件と西会津町役場は学校を改修しているが、職員の話を聞くと使い勝手が悪いというので、この案でいうと候補地②がいいと思う。

現庁舎から移転した場合、商工会を中心とした賑わいの施設をつくれば、活性化につながるのではないかな。

(町民)

坂下地区の懇談会に参加したかったが、所用により行くことができなかった。他の5地区は終わっているが、候補地②が最適だという意見が多かったのではないかなと思う。旧坂下地区としてはどのような意見が多かったのか。参考までに聞かせて欲しい。

(事務局)

坂下地区の方々からは様々な案があった。候補地①が良いという方もいるし、ここでの意見と同じような意見の方もいた。防災機能、利便性についても意見があった。

地区の懇談会でも、全てが候補地②というわけではなく、色々な考えをもっている方もいる。

(町民)

候補地②となれば嬉しいが、仮にそこになった場合、敷地全てを4億6千万円で購入し、残りを2億円で売却となっている。ということは、何が来るか分からない。例えば候補地②に決まり、そういう方向で進んでいくとすると、敷地半分を売却する必要はあるのか。なぜ敷地全てを使わないのか。そのようになった理由は何かな。

(町長)

候補地②は2万3千㎡あり、庁舎としては1万750㎡あればいいとなると、大体1万㎡の残敷地ができることとなる。この残敷地を、ただ役場所有とするのではなく、優良な企業や団体に入ってもらいたいと考えている。何かあった際に、駐車場が役場の分だけで足りないという時は、

共同利用について理解できるような企業、団体に売却したい。売却するにあたって、その条件をもつてのぞみたいと考えている。

(町民)

空き地にしていっても何も生まないので、可能な限り利用してもらいたい。

(町長)

具体的に申し上げますと、J A坂下支店が昨年の総代会で組織再編、施設再編が可決されている。組合長は具体的には考えていないということではあるが、いずれ移転したいという話がある。ということであれば、候補地②の跡地をJ Aにアプローチしていきたい考えである。

(町民)

基本理念の1、防災拠点が大切。早く建設しなければ、現庁舎が壊れてしまう。できるだけ早く。場所はどことは言わないが、一番早い工期でお願いしたい。

(町民)

この資料では、役場が移転した際の中心市街地の活性化をどう図るかという案がでていますが、そういった2点方式ではなく、会津坂下町全体の活性化を図るために、どのようなまちづくりをしていくのかという視点が必要だと思う。

例えば、西部地域の拠点としてという言葉があり、良いことだと思うが、具体的にどのような方向で坂下町だけでなく、会津西部の中心としてどう機能していくかという構想も合わせてたててほしい。

その関連で、まちづくりは役場だけが考えることではなく、住民も考えなくてはならない。例えば、中心市街地の活性化が必要だと言っている方も、自分たちの町をどう作っていくのかを役場と一緒に考えるという姿勢、取り組みが必要ではないか。

今、住民同士が反目しあっている場合ではない。いかに新庁舎建設を機にプラスに転じるか。まちづくりの方向なり、盛りあがりを持って行くのかという考え方、取り組みが必要だと感じている。